

がんの治療で髪を失った女性のために、治療を終えた人からかつら(ウィッグ)の提供を受け、無料で貸し出すNPO法人を7月に設立した。法人名には「ウィッグを通して、勇気や希望、笑顔をつなぐ輪(リング)をつくる」との思いが込められている。

昨年春、幼なじみが乳がんを患つたのがきっかけだ。ふさぎ込む様子を見て、がんを克服した知人に相談したところ、かつらを薦められた。高額だったため、知人に借りたかつらを持参すると、「元気になつて、自分も次に渡したい」と前向きな言葉を口にした。

「いろんな人をつなぐために、自分が動けば、患者さんを笑顔にできる」。こう実感し、映像制作会社を経営する傍ら、昨年7月にNPO法人の前身となるボランティア団体をつくった。かつらは次に使う人への手紙とともに寄せられる。毎週月曜日と第4土曜日、福岡市・天神の事務所で元患者のスタッフらとともに相談に応じている。「健康は幸せの基本。多くの女性が自分の体を守ることをもつと考えるような社会にしたい」と語る。

問い合わせは事務所(092・725・6623)へ。
(堀美緒)

NPO法人ウィッグリング・ジャパン代表理事

上田あい子さん 37

(福岡市西区)

